

再ヒ緩流トナリ河床河岸共ニ礫石ヨリ成ルハ幡附近以下河ハ次第ニ幅員ヲ増シ河床ハ全ク砂礫ヨリ成リ兩岸ニハ平潤ナル耕地アリ

三、治水及水利 本水系ニ於テハ治水トシテ纏リタルモノナシ最重要ナルハ用水ナリ。流域内ニハ凡ソ一、二〇〇町歩ノ水田アリ是等ヲ灌漑スル用水ハ所在ニ引用セラル漁業ハ單ニ里人ノ娛樂トシテ行フニ過キスシテ鮎、鱧、蟹、鮪等ノ漁獲アリ

四、水力地點 本水系ニテハ中流部祝坂、鹽浸間ニ稍急ナル勾配アリテ水力ニ利用シ得ヘケンモ水量少ク且夏期用水ニ引用セラルル量相當アレハ大ナル出力ヲ望ムヘカラス許可地點ニアリテ上記利用シ得ヘキ部分ヲ盡クセリ其ノ他佐敷町ノ北方ニ湧水ヲ利用スル既設發電所アリ但シ一〇〇馬力ニ充タス

佐敷川水系許可地點一覽表

種別	千馬力—五千馬力		合計	
	地點數	馬力數	地點數	馬力數
發電開始	1	1	1	1
未開始	2	2,495	2	2,495
合計	3	2,495	3	2,495

第二十七章 球磨川水系

一、流域

(一) 地形 球磨川水系ノ流域ハ熊本縣南部ヲ占メ八代、球磨、葦北ノ三郡ニ跨リ尙宮崎縣西諸縣郡、鹿兒島縣伊佐郡ヲカスメ稍長方形ヲナシ北東ヨリ南西ニ向ヒ南北一四里東西一三里ニ亘リ面積一二二方里アリ

流域ノ地形ヲ概觀スルニ九州山系ハ北東ヨリ來リ流域ノ過半ヲ掩ヒ其ノ支脈日向山脈ノ一脈ハ流域ノ東部宮崎熊本兩縣界ヲ南走シ國見山脈之ニ接シテ起リ西ニ延ヒテ流域ノ南ヲ限リ是等ノ山脈ノ間ニ人吉盆地介在セリ九州山系及日向山脈ニ屬スル部分ニ於テハ急峻ナル山岳相連リ深谿其ノ間ヲ通シ平地ハ寸地モアルコトナク地形極メテ峻峻ナリ

此ノ部分ニ於テ山ハ球磨川本流及支流五木川、川邊川等ノ溪谷ニ依リテ略三條ノ脈ニ分タル其ノ一ハ流域ノ北東端ニ聳立スル國見山ヨリ縣界ニ沿ヒ南走スルモノニシテ五勇山、烏帽子嶽、銚子笠、江代山、市房山等高さ五、〇〇〇尺乃至六、〇〇〇尺ノ峻峻ナル山岳相連リ耳川、一瀬川等トノ流

域ヲ分チ一ハ烏帽子嶽ノ南方ヨリ南西ニ向ヒ延ヒタルモノニシテ石楠峠、高塚山ヲ經高サ四、一〇〇尺許ノ三方山ニ至リ之ヨリ次第ニ高峻ノ度ヲ減シ遂ニ川邊川合流點ノ東方ノ丘陵ニ終レルモノニシテ球磨川本流ト川邊川トノ流域ヲ分テリ。尙一條ノ脈ハ國見山ノ西方ニ對峙スル京丈雁俣山ヨリ南西ニ延ヒタルモノニシテ高サ三、〇〇〇尺ノ徑ノ越、三本木峠ヲ經六本杉山、端海野附近ニ至レハ急峻ノ度ヲ減シ次第ニ高原性ヲ帯ヒ更ニ高サ二千數百尺ノ峯トナリ相連リテ南走シ神瀨附近ニ至レルモノニシテ北方ニ於テハ氷川トノ流域ヲ分テ南部ニ於テハ小川、萬江川等ト本流下流部トノ流域ヲ分テリ

球磨川本流下流部ノ西方ニハ九州山系ニ屬スル一ノ山脈南北ニ走レリ高サ一、〇〇〇尺乃至二、〇〇〇尺竹内峠、鳥越笠山、鶴掛山等ヲ連ヌルモノニシテ八代灣ニ注ク諸流トノ流域ヲ分テリ

是等ノ山脈ノ間ニハ尙多數ノ山岳並立セリ而シテ一般ニ山岳ハ流域ノ東方及北方ニ於テハ頗ル高峻ニシテ五家莊ノ僻地等其ノ間ニ存スレト西南方ニ至レハ高峻ノ度ヲ減シ人吉町ヨリ下流ニ於テハ兩岸ニ急峻ナル山岳相連レトモ高サ二、三〇〇尺ヲ超ユルモノ少シ

流下流部兩岸ヨリ人吉盆地以北ノ地一帯ニ展延セリ主トシテ砂岩ト粘板岩ノ互層及珩岩、輝綠凝灰岩、石灰岩等ヨリ成リ其ノ石灰岩ハ特ニ本流入吉以下ノ部分ノ兩岸ニ著シク發達シ有名ナル清正公岩、檜倒シ岩等ノ斷崖及多數ノ石灰洞ヲ成セリ

是等ノ古生層ノ間ニ火山岩ノ介在スルモノアリ其ノ一ハ安山岩ニシテ五家莊内ナル葉木川ノ沿岸ニ帶ノ如ク存在スルモノ一ハ花崗岩ニシテ一塊トナリテ江代山市房山附近ヲ作り球磨川上流部ノ東方及湯山川上流部ニ展延スルモノナリ。此ノ花崗岩塊ハ本流域ニ於テ古生層ト中生層ノ境界ヲナシ之ヨリ南西ハ中生層トナレリ該中生層ハ主トシテ砂岩及粘板岩ノ互層ヨリ成リ牧良山、黒原山ヨリ白髮岳、小白髮岳等ノ附近ヲ構成シ之ヨリ以西ヲナス火山岩ニ接シ一部ハ該火山岩ノ山岳ノ北側麓部ニ展延シテ大畑附近ニ及ヘリ

國見山脈ハ主トシテ輝石安山岩ヨリ成リ國見山及國見岳附近ニハ流紋岩アリ東部ニ於テハ山麓中生層ヨリ成リ火山岩ハ山頂ヲナスニ過キサレト中部以西ニ於テハ北方球磨川河岸附近迄延ヒ殊ニ渡附近ニ於テハ河岸ニ達セリ九州山系ノ古生層ノ北側ニ白堊系アリ該層ハ熊本縣中

流域ノ南方ヲ限レル國見山脈ハ流域ノ南東隅ナル黒原山ニテ日向山脈ニ接シテ起リ小白髮岳、白髮岳、大平山等ヲ經テ西走シ國見山、久七峠ヨリ主峯國見岳ニ至リ本脈ハ西走スレト支脈ハ北西ニ進ミ遂ニ球磨川本流西方ノ山脈ニ連ルモノニシテ高サ二、五〇〇尺乃至五、〇〇〇尺一條ノ連嶺ヲナシ川内川水系トノ流域ヲ分テリ。此ノ山脈ノ南側川内川ニ面スル方ハ多數ノ溪谷ニ切ラレ支脈ノ狀ヲ呈シテ延フレト北側ハ然ラスシテ其東方ニ於テハ人吉盆地ニ西方ニ於テハ球磨川本流ニ臨メリ

人吉町ノ東方ニ當リ國見山脈ト九州山系トノ間ニ一ノ盆地アリ人吉盆地ト稱シ稍偏平ナル三角形ノ狀ヲナシ北東ヨリ南西ニ延ヒ長サ六里幅最大一里半許アリ曾テ湖底ナリシト稱セラレ極メテ平坦ナリ

球磨川水系ノ流域ハ斯ノ如ク至ル所山岳連亘シ平地ハ人吉盆地ノ外ニハ河口八代附近ニ少許アルニ過キス流域内ニハ沼湖ナシ

(二)地質 本流域ノ地質ハ之ヲ三部ニ大別スルヲ得即チ九州山系ニ屬スル山岳ハ古生層ヨリ成リ國見山脈ノ東部ハ中生層ヨリ成リ其ノ西部ハ火山岩ヨリ成レリ

九州山系ノ主軸ヲ構成スル古生層ハ本流域ニ於テハ本部ニ於テ二脈ニ分レテ古生層ノ地溝ヲ埋メ更ニ西方天草諸島ニ及ヘリ而シテ本流域ニ於テハ河口ニ近ク鎌瀨ヨリ下流山岳ノ間ハ主トシテ該層ニ當リ泥板岩及砂岩ノ互層ヨリ成リ中ニ少許ノ花崗岩及蛇紋岩ヲ交ヘタリ

人吉盆地ニ於テ其ノ北部古生層ノ山岳ノ麓部ヲ成セル丘陵及人吉町ノ南方ニ於ケル丘陵地ハ主トシテ熔岩其ノ他ノ火山噴出物ヨリ成リ河川沿岸ノ平野ハ洪積層及沖積層ヨリ成レリ

(三)林野狀態 本水系流域内ニ於ケル國有林ハ主トシテ流域ノ邊周ニ在リ合セテ流域面積ノ一割ニ當レリ其ノ最廣大ナルモノハ流域ノ南部ヲ限レル國見山脈一帯ニ於ケルモノニシテ宮崎縣東海岸ヨリ八代海ニ至ル迄連續展延セル廣大ナル國有林ノ一部ニ當リ本流域ニ於テハ小白髮岳附近ヨリ國見山ニ至ル迄國見山脈ニ屬スル山岳ノ中腹以上ヲ掩ヘリ之ニ次クモノハ流域ノ北東國見山附近ニア

ルモノニシテ本流域ノ北邊ヲ掩シ面積大ナレトモ本流域内ニアル部分比較的少ク而シテ一部ハ銚子笠附近ヨリ更ニ久連子附近ニ延ヒタリ又一ハ萬江川ノ西、六本杉附近ヨリ八代球磨兩郡界ノ山脈一帯ニモ展延シ其ノ他市房山附近、仰烏帽子山附近等各所ニ少許宛點在セリ是等ノ國有林

ハ所々針葉樹林アリ又水上村内等ニ無立木地アレト大部分ハ潤葉樹林ニシテ森林状態相当良好ナリ

是等ノ國有林ヲ除ク以外ノ地ハ林野状態ヨリ之ヲ大體

三ノ區域トスヘシ其ノ一ハ人吉盆地ニシテ土地平ニシテ耕地開ケ田ハ耕地ノ過半ヲ占メ又所々杉ノ植林等アリ其ノ二ハ河口附近ノ八代平野ニシテ田畑連ル而シテ其ノ三ハ流域ノ大部分ヲ占ムル山岳重疊セル部分ニシテ水田ハ河畔溪谷等ニ極メテ少許アルニ過キス畑ハ河畔及ヒ山腹等ニ點々アレト其ノ面積多カラス其ノ他ハ總テ山林又ハ原野ニシテ舊來ハ針濶混濬林鬱蒼タリシモ一時濫伐ノ結果甚シク荒廢セリ而シテ此ノ部分ニ於テモ流域ノ南北自ラ状態ヲ異ニシテ北部五木村及五家莊諸村ニ於テハ土地峻峻人煙稀薄ニシテ田ハ殆トナク畑モ多クハ山腹ノ林ヲ燒キテ種子ヲ下スニ過キス植林亦殆ト見ルヘキモノナケレトモ南部諸村ハ杉檜等ノ植林所在ニ行ハル

(四)氣象 流域ノ南部暖ク北部寒ク年平均氣溫一二度ヨリ一六度ノ間ニ在リ北部ナル五家莊附近ニ於テハ十一月中旬ヨリ三月下旬迄降霜アリ降雪亦多ク最低氣溫零下〇度ニ近シ

雨量ハ海岸部少ク年雨量一、六〇〇耗降雨日數一二〇日

峻ナル山岳連亘スル間ヲ流下ス河幅一〇間内外ナルコト多ク河岸ハ多ク岩盤露出屹立シ河床ニハ礫轉石多數アリ勾配ハ水上村川口ヨリ古屋敷迄ノ間三五分ノ一古屋敷ヨリ江代迄五〇分ノ一江代ヨリ湯山川合流點迄一〇〇分ノ一許ナリ。第二ノ區間ハ水上村幸野ヨリ渡村迄ニシテ河カ人吉盆地ヲ流通スル部分ナリ。川邊川合流點附近ニ河岸河床岩盤ヨリ成ル所アル外河床河岸一體ニ土砂礫ヨリ成リ河岸ニ土層屹立スル所アリ河幅ハ所ニ依リテ異レト十餘間ヨリ三〇間ニ及ヒ勾配極メテ緩ナリ而シテ人吉町附近ニ於テ川邊川ヲ容レ頓ニ大ヲナセリ

第三ノ區間ハ渡村ヨリ河口迄ニシテ所謂球磨川ノ急流トシテ其ノ名天下ニ遍キハ之ナリ兩岸ニ極メテ急峻ナル山岳連亘シ神瀬村大瀬附近ニハ斷崖懸リ清正公岩檜倒シ岩等ノ名勝ヲナセリ河幅三〇間ヨリ八〇間許ノ間ニ在リ河岸ハ岩盤露出スル所ト砂礫ヨリ成ル所ト相半シ河床ハ神瀬村多武附近ニ於テ岩盤露出スルコトアレト多クハ砂礫轉石ヨリ成リ河中ニ礫多ク堆積シテ洲ヲナスアリ所々ニ瀬アレト何レモ大ナルモノナク瀬所々ニ在リ勾配緩ニシテ渡ヨリ大瀬ニ至ル間四四〇分ノ一ナル外下流部ハ凡テ五〇〇分ノ一以下ニシテ殊ニ神瀬附近ハ一〇〇〇分ノ

許人吉盆地之ニ亞キ雨量一、八〇〇耗内外降雨日數一四〇日許山間部ハ概シテ多クシテ二、五〇〇耗乃至三、〇〇〇耗降雨日數一八〇日許ナリ

二河川ノ狀況

(一)概説 球磨川水系ノ流域ハ大半急峻ナル山岳連亘スルヲ以テ支流割合ニ少ク河川狀況簡單ナリ。本流ハ宮崎熊本兩縣界ナル銚子笠附近ニ發シ高塚山三方岳等ト江代山市房山等ノ間ヲ南流シ人吉盆地ニ出テ西ニ轉シ人吉町ノ西ヨリ更ニ九州山系ニ屬スル山岳ノ間ヲ創刻シ北轉シテ八代附近ニ出テ海ニ注ク。本流ノ南ニ近ク國見山脈相連レルヲ以テ南方ヨリ來ル支流ハ何レモ小ニシテ人吉盆地ノ東ニ於テ合流スル湯山川及人吉町附近ニ於テ合流スル鳩胸川、胸川等アレト北方ヨリ來ルモノニ長流アリ其ノ最大ナルモノハ川邊川ニシテ熊本、宮崎縣界ナル峻峯國見山附近ニ發シ五家莊ノ僻地ヲ流通シ支流小川ヲ合セ南流シテ人吉町ニ於テ本流ニ合ス之ニ稍平行シ其ノ西ヲ流ルルモノニ萬江川アリ

(二)河況

球磨川本流 球磨川本流ハ之ヲ三ノ區間ニ分ツヲ得其ノ一ハ上流部即チ球磨郡水上村幸野附近迄ニシテ河ハ急

一ニ近ク坂本以下ハ更ニ緩ニシテ急流ノ名ニ叛クコト甚タシ。遂ニ八代平野ニ出テ海ニ注ク

川邊川 上流部ヲ五木川ト稱ス。上流ヨリ下流ニ行クニ從ヒ河況次第ニ變化ス八代郡椎原村椎原附近ニ於テ支流ヲ合セテ稍大ヲナス之ヨリ五木村宮園附近迄ハ極メテ急峻ナル山迫レル間ヲ流下ス河幅椎原附近ニ於テ一〇間ニ滿タサレト次第ニ増加シ二〇間ニ近キ所アリ河岸主トシテ岩盤露出シ河床ハ礫轉石多ク勾配六〇分ノ一乃至八〇分ノ一許ナリ。宮園ノ附近ニ出ツレハ兩岸稍開ケ河岸ニ平地アリ河床河岸主トシテ砂礫ヨリ成リ勾配緩ニ水流靜穩トナレト進ミテ栗鶴ノ下ニ至レハ河況一變シ兩岸又急峻ナル山迫リ山ニハ岩塊散亂シ河岸ニ岩盤露出シ河床ニハ巨大ナル轉石累積シ勾配五〇分ノ一許ナリ。竹ノ川ニ於テ支流ヲ合シ流量増加ス之ヨリ四浦村ト川村ノ界ニ至ルマテハ河川ノ兩岸ニ急峻ナル山迫リ河岸ハ岩盤露出屹立シ河床ハ主トシテ砂礫轉石ヨリ成リ竹ノ川ヨリ頭地ナル小川合流點迄ハ河幅一〇間乃至二〇間勾配一二〇分ノ一ニシテ之ヨリ下ハ流量増加シ河幅多少廣ク瀬アレト所々ニ淵アリ勾配一八〇分ノ一許ナリ。川村ニ入りテヨリハ河畔稍開ケ兩岸ニ丘陵連リ河畔ニ少許ノ平地アリ河

岸河床岩盤露出スルコトアレト砂礫ヨリ成ルコト多ク河幅増大シ所々ニ洲アリ松馬場附近迄ハ勾配二三〇分ノ一其ノ以下ハ更ニ緩ナリ。遂ニ本流ニ合流ス

小川 川邊川ノ上流五木川ノ支流ナリ端海野附近ノ水ヲ集メ頭地ニ於テ五木川ニ合流ス五木村坂下ヨリ慶地ニ於ケル支流合流點迄ハ急峻ナル山相迫リ河幅三四間乃至一〇間河岸ハ岩盤露出シ河床ニハ礫轉石多ク勾配四〇分

一乃至五〇分ノ一ナリ。慶地ヨリ合流點迄ハ河畔稍開少許ノ平地アリ河幅一〇間内外河床河岸共砂礫轉石ヨ成リ勾配九〇分ノ一許ナリ

湯山川 市房山西斜面ノ小溪流水上村湯山ニ於テ相集リテ湯山川トナリ西流シテ本流ニ注ク。湯山川附近ハ兩岸稍開ケソレヨリ以下ハ山相迫レリ河幅二三間ヨリ四五間河床河岸岩盤ヨリ成リ河岸屹立シ河床ニハ礫轉石散在シ勾配四五分ノ一ナリ

萬江川 肥後峠ニ源ヲ發シ山岳ノ間ヲ南流ス。山江村白嶽ヨリ吐合迄ハ極メテ急峻ナル山相迫レル間ヲ流下ス河幅四五間河岸ハ岩盤露出シテ山脚ニ接シ河床ニハ岩盤露出シ轉石散在シ段流相次キ勾配二五分ノ一許ナリ。吐合ヨリ平山附近迄ハ兩岸ニ山連レトモ河畔稍開ケ河幅五

間内外河床主トシテ砂礫ヨリ成リ勾配六〇分ノ一許ナリ柳野附近ヨリ下ニ於テハ兩岸平地トナリ河幅一〇間餘勾配緩ニシテ河岸ニ雜草叢生セリ而シテ神園ニ於テ用水ヲ分チテヨリ流量頓ニ半減シ水ハ次第二砂利層ニ潛入シ中原村牛塚附近ニ於テハ急峻ヲ絶チ礫トナル礫ニハ雜草生シ常時流水ヲ見サレトモ同村下林附近ニ至リテ再ヒ顯ハレ球磨川本流ニ合流ス

鮎歸川 本流下流部ニ合流スル小支流ナリ肥後峠ニ源ヲ發シ西流ス急峻ナル山ノ溪谷ヲ流レ河床河岸岩盤ヨリ成リ轉石散在シ勾配三五分ノ一ナリ

(三)流量 流量變化ノ模様ハ大體一般河川ニ同シク十一月ヨリ一月迄ハ概シテ少ク二月ヨリ五月中旬迄ハ次第二多ク五月中旬ヨリ六月上旬次第二減少シ梅雨期ニ入ルヤ急ニ増水シ八月頃迄ハ概シテ多ク此ノ間ニ於テモ旱天續ケハ流量相當減少スレト冬季ノ如ク著シカラス而シテ九月ヨリ次第二減少ス。本流上流部及五木川川邊川等ニ於テハ用水殆トナキヲ以テ月平均流量ノ最小及一年ヲ通シテノ最小流量共二十一月ヨリ一月ノ間ニ起レトモ本流下流部即チ人吉町以下ニ於テハ人吉盆地ニ於テ灌溉用水トシテ多ク取入レラルルヲ以テ一年ヲ通シテノ最小ハ年ニ

依リ冬季ニ起ルコトト五月又ハ六月ニ起ルコトトアリ然レトモ月平均流量ノ最小ハ常に冬季ニ在リ。月平均流量ノ最大流量ハ六月ヨリ八月ノ間ニ起ル

球磨川水系流量表 (本省調査)

順位	番順位	河川	測水所	流域積域	流量					流域一方里當流量				
					年次	最大	平水	低水	濁水	最小	最大	平水	低水	濁水
三三六	八〇八	球磨川	熊本縣球磨郡水上村江代	六三〇	大正八年 五五〇〇 大正九年 四〇〇〇 大正十年 四〇〇〇 大正十一年 五〇〇〇 平均 四四〇〇	二八〇〇 二二〇〇 二二〇〇 二二〇〇 二二〇〇	一五〇〇 一三〇〇 一三〇〇 一三〇〇 一三〇〇	七〇〇 六三〇 六三〇 六三〇 六三〇	三三 三三 三三 三三 三三	六六 六六 六六 六六 六六	六六 六六 六六 六六 六六	六六 六六 六六 六六 六六	六六 六六 六六 六六 六六	
三三七	八一〇	同	熊本縣球磨郡神瀬村	一〇五四	大正八年 六四〇〇 大正九年 六四〇〇 大正十年 五三〇〇 大正十一年 五三〇〇 平均 五三〇〇	二二〇〇 二二〇〇 二二〇〇 二二〇〇 二二〇〇	一三〇〇 一三〇〇 一三〇〇 一三〇〇 一三〇〇	七〇〇 六九〇 六九〇 六九〇 六九〇	三三 三三 三三 三三 三三	六六 六六 六六 六六 六六	六六 六六 六六 六六 六六	六六 六六 六六 六六 六六	六六 六六 六六 六六 六六	
三三八	一	五木川	熊本縣球磨郡五木村	一五七	大正八年 三三〇〇 大正九年 三三〇〇 大正十年 三三〇〇 大正十一年 三三〇〇 平均 三三〇〇	一三〇〇 一三〇〇 一三〇〇 一三〇〇 一三〇〇	七〇〇 七〇〇 七〇〇 七〇〇 七〇〇	三三 三三 三三 三三 三三	六六 六六 六六 六六 六六	六六 六六 六六 六六 六六	六六 六六 六六 六六 六六	六六 六六 六六 六六 六六	六六 六六 六六 六六 六六	

本流下流部ニ於テハ河岸ニ石灰岩脈長ク連リ該脈ヲ透シテ支流流域ノ水本流沿岸ニ湧出スルアリ滲透スルモノハ明ナラサレトモ多少アルヘク關係稍複雑ナレト總流量ニ比シ多カラス

順位	番順位	河川	測水所	流域面積	流				流域一方里當流量					
					年次	最大	平均	低水	湯水	最小	最大	平均	低水	湯水
三九	一	川邊川	熊本縣球磨郡四浦村田代東	三二九	大正八年 一〇、八〇〇	七六	四九	二七	一八二	三九	三六	三五	六六	五八
					大正九年 九、四〇〇	六七	四九	二七	一八二	三九	三六	三五	六六	五八
					大正十年 三、三〇〇	六四	三九	二七	一八二	三九	三六	三五	六六	五八
					大正十一年 一、六〇〇	六四	三九	二七	一八二	三九	三六	三五	六六	五八
					平均	六六	四九	二七	一八二	三九	三六	三五	六六	五八

三、水利及治水

(一) 概説 本水系ハ各河川共大部分山間ヲ流下スルヲ以テ洪水汎濫スルコトナシ本流及支流萬江川ハ大正五年十月十三日河川法準用認定セラレタリ。水利事業トシテハ流材及舟航ヲ第一トシ用水漁業之ニ亞ク。發電水力ニ於テハ本流上流部及支流ニ許可地點アリテ工既ニ成リシモノアレト何レモ小地點ニシテ本水系主要部分ハ未タ許可セラレス

(二) 舟航及流材 流材ハ本支流共盛ナリ舟航ハ本流下流部ニアリ

球磨川本流 流材ハ最上流部球磨郡水上村ヨリ河口迄行ハル上流ニ於テハ四季間斷ナク之ヲ行ヒ寧ロ夏季ノ出水時ヲ利用スレト球磨郡多良木村以下ニ於テハ秋ヨリ春ニ多シ。上流ヨリ人吉町迄ハ多ク管流トシ一部ハ深田村

舟航ハ五木村頭地ヨリ人吉迄アリ主トシテ林産物ヲ搬出スレト航行極メテ少シ

(三) 用水 本水系ノ流域内ニ水田纏リテ有ルハ人吉盆地ト河口八代平野ニシテ其ノ他ニ於テハ溪谷等ニ少許宛有ルニ過キスシテ溪流ニヨリ灌漑スルヲ以テ用水ト稱スヘキモノナシ

本流ニ於テハ水上村幸野ヨリ人吉附近迄及河口附近ニ限リ大ナルモノ多ク人吉盆地ニ於テハ灌漑反別一、三〇〇町歩ヲ超ユルモノアリ八代平野ニ於テハ六六〇町歩ヲ超ユルモノアリ川邊川ニ於テハ川村上川邊附近及柳瀬附近ニ合計四アリ其ノ他鳩胸川、胸川、山田川、萬江川等ニモ用水取入口アリ是等ハ何レモ灌漑期ニ於ケル本流下流部ノ流量ニ多少ノ影響アリテ時ニ年最小流量ヲ現出セシムル外水力利用ニ直接關係ナシ

(四) 漁業 「イダ」マタラ「鰯」等ハ本支流ヲ通シ到ル所ニ於テ漁獲サレ總額一〇、〇〇〇貫價格三〇、〇〇〇圓許ナレトモ最著シキハ鮎ニシテ球磨川鮎名高シ。鮎ノ漁獲サルルハ川邊川、萬江川及本流入吉以下ニシテ何レモ六月一日ヨリ十月末迄トシ八月迄ハ掛針ヲ以テ漁獲スルノミナレト九月頃ヨリ數部落聯合シテ籠ヲ作り日々交代ニ見張リヲ

ヨリ後流トス。人吉町ヨリ八代迄ハ後流ヲ主トス一年間ノ流下數量ハ角材丸太合セテ六五、〇〇〇石板類一一五、〇〇〇坪許ニシテ大部分民有ナリ

舟航ノ行ハルルハ人吉ノ上流深田村ヨリ河口迄ニシテ人吉ノ上下流自ラ二區ヲナシ日々舟航アリ往時ハ本流人吉町ヨリ八代間ハ人吉町ニ通スル唯一ノ交通路タリシモ今ヤ鐵道開ケタレハ昔日ノ艱ナク舟ハ主トシテ林産物ヲ搬出ス

川邊川、五木川及小川 流材ハ夏季出水時ヲ避クレトモ其ノ他常ニ盛ナリ殊ニ五木川上流部及小川等ニ於テハ流材ノタメ堰ヲ作ルコト多シ。大部分管流トシ現在角材丸太合セテ一年三五、〇〇〇石ヲ流下スト雖近ク五家莊國有林ノ利用開始セララルルニ至ラハ更ニ二〇、〇〇〇石ヲ増加スヘシ

ナシテ漁獲ス毎年設ケラルル籠ハ川邊川七、八箇所萬江川二、三箇所本流二箇所ニシテ鮎ノ質ハ川邊川最良ク産額ハ年ニ依リテ差異アレト大凡川邊川四、五〇〇貫價格二三、〇〇〇圓萬江川一、〇〇〇貫價格五、〇〇〇圓本流二〇、〇〇〇貫價格一〇、〇〇〇圓許ナレハ本支流ヲ通シ漁類産額一六〇、〇〇〇圓ニ達ス

四、水力地點

(一) 概説 本水系ニ於テ水力ニ利用シ得ヘキハ本流上流部、五木川、川邊川中流部以上、小川、萬江川等ニシテ其ノ他白水瀧湯山川、胸川、鮎歸川等ノ支流ニ於テモ小出力ノ地點ヲ得ヘシ。本水系中最人目ヲ惹ク所謂球磨川急流即チ本流人吉以下ノ部分ニ於テハ其ノ最勾配急ナル所ト雖四四〇分ノ一ニシテ而モ湧水量七〇〇個餘ニ過キス加之沿岸ニ鐵道通シ道路人家田畑アルヲ以テ兩岸急峻ナル山岳連亘スルニモ不拘高キ堰堤ヲ築造スルコト能ハス。從ツテ此ノ部分ヲ利用セントスレハ普通ノ水路式ノ設計ヲナササルヘカラサルヲ以テ水路亘長大トナリ工費嵩ミ湧水量標準ニ於テ一基當一、〇〇〇圓以下ニテ完成スルコト困難ナルヘシ。加之舟筏ノ航行漁業アルヲ以テ是等ニ對スル保價等ヲモ算入スルトキハ決シテ有利ノ地點ヲ得ヘカラサ

ルハ明ナリ
 本水系ニハ流材漁業多シ流材ハ漸次陸送ニ變スル傾向アリト雖五木川川邊川小川等ニ於テハ道路現在ノ儘ニテハ全部陸送ニ變スルコト不可能ナリ從ツテ發電所設置ノ際ハ相當ノ方法ヲ講スル要アルヘシ又漁業ニ對シテモ適當ノ設備ヲ施スヲ必要トス

本水系ニ於テ許可地點數箇所アリ大部分工成レリ然レトモ本流上流部ニ於ケル地點一ヲ除ケハ何レモ小支流ヲ利用スルモノニシテ川邊川等ニ於ケル主要地點ハ未タ許

球磨川水系選定水力地點一覽表

種別	發電開始 未開始 合計	百馬力—五百馬力		千馬力—五千馬力		合計
		地點數	馬力數	地點數	馬力數	
發電開始	三	三	九五〇	一	一、七〇五	四
未開始	一	九五〇	二	三、〇六五	二	三、〇六五
合計	三	九五〇	三	四、七七〇	六	五、七二〇

球磨川水系許可地點一覽表

可ニ至ラス然レトモ之出願ナキニ非スシテ競願ノ處理困難ナルニ依レルヲ以テ主要地點大半ノ許可ヲ見ルハ蓋シ近キ將來ニ在ルヘシ

地點數	馬		力		水		平		水							
	以千馬力上	以千馬力下	合計	元調查局 地點ニ關 係アルモノ	以千馬力上	以千馬力下	合計	元調查局 地點ニ關 係アルモノ	以千馬力上	以千馬力下						
九	六	一五	九	一九六五〇	三、三三〇	三、三三〇	一、五八四	三、四四七	六	六六七	四、二一四	二、七五五	五、〇一〇	九、九六七	六、六八〇	四、五五〇

球磨川水系選定水力地點表

落差ニ*ヲ附セルハ概定數ナリ

順位	河川	番地 號點	取入口	放水口	水量	落差	馬力數	巨水 長路	面流 積域	能發 率電	年平均 馬力數	等級
二二八六	球磨川	一	熊本縣球磨郡水上村 江代郡水屋敷村	同郡古屋敷村	平水 一〇〇 低水 六三 湯水 三三	*三五〇	二、四四八 三、八八五	一、八五〇	三、四〇〇	九三三 八二五	二、二六二 三、二〇八	甲

二二八七	同	番外一	熊本縣球磨郡西峰村	同郡一西丸村	湯水 五一八 低水 八七三 平水 一五〇〇	一三	一、二六〇 二、一六五	五、〇〇〇	七〇九八	九四〇 八一〇	一、二八四 一、七五四	乙
二二八八	同	二	熊本縣球磨郡船橋戸村	同郡大神瀨村	湯水 六九七 低水 一、一七〇 平水 二、〇一〇	七五	九、七四〇 一六、七三三	六、〇〇〇	七、四四二	九四〇 八一〇	五、四〇三 九、一五五	丙
二二八九	湯山川	番外二	熊本縣球磨郡湯上山村	同郡湯上山村	湯水 二二 低水 四三 平水 六八	二二九	一、〇九三 一、七二八	一、三〇〇	二、三〇	九三三 八一〇	一、〇一九 一、四三三	乙
二二九〇	五木川	三	熊本縣八代郡板橋水村	同郡板橋水村	湯水 六五 低水 一、一七 平水 一九七	*一五〇	一、九四八 三、二八〇	一、五〇〇	九、六七	九三三 八一〇	一、〇一九 一、四三三	乙
二二九一	同	四	熊本縣球磨郡五木村 上荒地	同郡五木村 下荒地	湯水 八九 低水 一六一 平水 二七一	*一五〇	二、六八一 四、五二二	二、〇〇〇	二、五五	九三三 八一〇	二、五五 三、〇七	乙
二二九二	同	五	熊本縣球磨郡五木村 竹ノ川	同郡五木村 竹ノ川	湯水 一〇〇 低水 一九九 平水 三三四	九五	二、〇九八 三、五二二	七五〇	一、六七	九三三 八一〇	一、九三〇 二、六六一	甲
二二九三	同 小川	六	熊本縣球磨郡五木村 熊本縣球磨郡土會平	同郡五木村 頭五木地	湯水 一七三 低水 三三三 平水 五二三	九五	一、八二四 三、三〇一 五、五二五	二、〇〇〇 一、三〇〇 計三、三〇〇	二、四四 五、四二 計五、八六	一〇〇〇 九三三 八一〇	一、二八四 三、〇六六 四、四九〇	乙

順位	河川	番地	取入口	放水口	水量	落差	馬力數	亘水長路	面流域	能發率電	平均馬力數	等級
二、一九四	川邊川	七	熊本縣球磨郡五木村 逆瀬川	同郡 五木村 金木川	湧水 二〇三 低水 三五五 平水 五七〇	一四〇	三、一五五 五、五一七 八、八五八	三、一〇〇	二、七三三	一〇〇・〇 九、三四 八、一八	三、一五五 五、一五三 七、二四六	乙
二、一九五	同	八	熊本縣球磨郡四浦村	同郡 四浦村 六浦村	湧水 二二九 低水 四〇〇 平水 六四二	八八	三、九〇七 六、二七一	二、七〇〇	三、〇五八	九、三四 八、一八	三、二七 三、六四九 五、一三〇	乙
二、一九六	同	九	熊本縣球磨郡四浦村	同郡 高川 尾村	湧水 二四四 低水 四二六 平水 六八三	六〇	一、六二五 二、八三七 四、五四九	二、六〇〇	三、五五四	一〇〇・〇 九、三四 八、一八	一、六二五 二、六五〇 三、二二二	丙
二、一九七	小川	番外三	熊本縣球磨郡五木村 折立	同郡 五木村 慶地	湧水 二〇 低水 三三 平水 一〇五	一三五	五、二四 九、七四 一、五七三	八〇〇	四、九九	一〇〇・〇 九、五六 八、一九	五、四 九、二 一、二八	乙
二、一九八	萬江川	番外四	熊本縣球磨郡山江村 白岳	同郡 山江村 吐合	湧水 二〇 低水 三七 平水 四六	*三〇〇	六、六六 一、二三二 一、五三二	一、二〇〇	二、四四	一〇〇・〇 九、五五 八、七一	六、六六 一、二五三 一、三三四	乙
二、一九九	同	番外五	熊本縣球磨郡山江村 吐合	同郡 山江村 屋形	湧水 三二 低水 六〇 平水 七六	*一五〇	五、三三 九、九九 一、二六五	一、二〇〇	四、〇〇	一〇〇・〇 九、五五 八、七一	五、三三 九、四 一、一〇三	乙
二、二〇〇	同	番外六	熊本縣球磨郡山江村 萬	同郡 山江村 釜野	湧水 三二 低水 七二 平水 九一	*一四〇	五、九一 一、一一九 一、四一四	一、六〇〇	四、八一	一〇〇・〇 九、五五 八、七一	五、九一 一、〇四六 一、三三三	乙

(二) 水力地點ノ説明

順位一、一八六 川口ニ於ケル合流點ヨリ取入レ古屋敷ニ於ケル支流合流點ノ下ニ放水セントスルモノナリ水路ハ右岸ニ取り全部隧道トスヘシ古屋敷迄馬車ヲ通スル道路アリ又之ヨリ川口迄對岸ニ林道アリ

順位一、一八七 本流ニ於テ川邊川合流點ノ直下ニ在ル瀬ヲ利用セントスルモノナリ合流點ニ堰堤ヲ設ケ左岸ニ開渠ヲ作り發電所ニ至ルヘシ或ハ堰堤ニ依リ水路ヲ省クモ可ナリ流材多シ

順位一、一八八 元調査局地點一、四七八ノ取入口ヲ遙ニ上流ナル渡村ニ移セルモノニシテ本流下流部ニ於ケル唯一ノ地點タリ水路瓦長ニ比シ落差少ケレハ有利ナリト云ヒ難シ水路ハ大部分隧道トナシ右岸ニトルヘシ神瀬村大瀬ノ上流ニ石灰洞ヨリ湧水アルヲ以テ隧道ノ開鑿ニ困難アルヤモ計ラレス舟筏ノ航行漁業多シ對岸ニ鐵道アリ

順位一、一八九 元調査局地點一、四八〇ヲ其ノ儘選定セリ。水路ハ隧道開渠相半ス車馬ヲ通スル道路アリ

順位一、一九〇 椎原村椎原ノ下ヨリ右岸ニ取り板木ノ下ノ合流點ニ放水スルモノナリ水路ハ隧道トスヘク地勢峻峻ニシテ道路開ケサルモ大林區畧林道開鑿ノ計畫アリ

順位一、一九一 元調査局地點一、四八四ヲ延長セルモノナリ水路ハ右岸ニトリ大部分隧道トスヘシ放水口附近迄人吉ヨリ車馬ヲ通スヘキ道路アリ

順位一、一九二 元調査局地點一、四八三ヲ其ノ儘選定セリ水路ハ左岸ニトリ全部隧道トスヘシ

順位一、一九三 元調査局地點一、四八一ト一、四八七トヲ延長シ合セタルモノナリ。五木川竹ノ川合流點ノ下ヨリ取入レ小川ノ水ト合セ頭地ニ於テ五木川ニ放水スルモノナリ水路ハ大部分隧道トスヘシ

河川別水量左ノ如シ

種別	五木川	小川	合計
湧水量	一三五	三八	一七三
低水量	二四三	七〇	三一三
平水量	四〇九	一一四	五二三

順位一、一九四 頭地ノ下流屈曲點ヨリ取入レ四浦村椎葉ヨリ來レル小流ノ合流點ニ放水スルモノナリ水路ヲ右岸ニ取り大部分隧道トスヘシ

順位一、一九五 元調査局地點一、四八六ヲ下ニ延長セルモノナリ水路ヲ右岸ニトリ大部分隧道トスヘシ

順位一、一九六 元調査局地點一、四八五ヲ下ニ延長セル
モノナリ水路ヲ右岸ニトリ大部分隧道トスヘシ

順位一、一九七 右岸ヨリノ支流溪谷合流點ノ下ニ取入
レ次ノ支流合流點ニ放水スヘシ水路ハ大部分隧道トスヘ
シ

順位一、一九八 白嶽ニ於ケル支流合流點ヨリ取リ宇那
川ヨリ來ル支流合流點ノ上ニ放水スヘシ水路ハ右岸ニト
リ大部分隧道トスヘシ人吉ヨリ車馬ヲ通スヘキ道路アリ

順位一、一九九 元調査局地點一、四九〇ヲ下ニ延長セル
モノナリ水路ハ左岸ニトルヘシ其ノ他前地點ニ同シ

順位一、二〇〇 元調査局地點一、四九一ヲ延長セルモノ
ナリ葛ノ下左岸ヨリ支流合流スル所ニ取入ル水路ハ左岸
ニトルヘシ其ノ他前地點ニ同シ

第二十八章 氷川水系

一 流域

(一) 地形 氷川水系ノ流域ハ熊本縣ノ中部ニ位シ八代郡
ノ一部ヲ占メ其ノ形菱形ニ近ク東西六里南北四里ニ亘リ

面積一二方里アリ

本流域ノ東南ニハ九州山系ノ主軸北東ヨリ南西ニ走り
其ノ餘勢ハ下流ヲ除クノ外流域全部ヲ掩ヘリ

下益城、八代兩郡界ナル雁俣山ヨリ來レル九州山系ノ一
脈ハ郡界ヨリ南折シ笹ノ越、三本木峠、六本杉山、大通越等高
サ三、〇〇〇尺乃至四、〇〇〇尺ノ連嶺ヲナシ球磨川水系ト
ノ流域ヲ分テリ是等ノ山岳中北部ノモノハ急峻ナレト六
本杉附近ニ至レハ高原性ヲ帶ヒ端海野ノ如キヲ現出シ大
通越ノ西部ニハ高サ二、〇〇〇尺内外ノ山岳連リ球磨川ト
ノ流域ヲ分テリ又流域ノ北部ニハ雁俣山ヨリ西ニ白嶽權
現山アリテ綠川水系トノ流域ヲ分チ更ニ西部ニハ低山起
伏セリ。是等ノ山脈ニ圍マレル流域内ニハ山岳連亘スレ
ト明ナル連嶺ヲナスコトナク氷川ノ支流ニ分タレ分立ス
皆急峻ニシテ河岸ニ迫レトモ最高峯矢山嶽スヲ高サ三、〇
〇〇尺ニ達セスシテ二、〇〇〇尺以下ノモノ多ク地形稍錯
雜ス。北種子山村及南種子山村ニ於テハ山岳ノ間河岸ニ
低夷ナル丘陵アリ而シテ宮原ヨリ下ハ平野トナレリ

(二) 地質 本流域ノ大部分ハ九州山系ヲ作レル古生層ヨ

リ成リ該層ハ主トシテ砂岩、珪岩、粘板岩等ヨリ成レリ而シ
テ該古生層ノ地溝ヲ埋メテ展延セル二條ノ白堊系アリ其
ノ一ハ下嶽村ヨリ南種子山村ニ至ル間氷川本流ニ沿ヘル